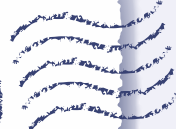




町長コラム

ベア・パル



利府町にカモン!

その昔、京にクジ引き将軍と呼ばれた将軍がおりまして、名を足利義教といいました。当初は善政を誇っていましたが、後に「万人恐怖」と形容されるほど独裁的になり、人々に恐れられたそうです。所領を奪われるなどした赤松氏が立ち上がり宴席を設け、クジ引き将軍の首を取りましたが、その誘い文句が「カルガモの親子がかわいいから(鴨の子沢山出来)見に来ませんか」でした。世にいう「嘉吉の乱」ですが、事は1441年夏の始まり6月24日でした。

翻って令和4年6月4日、親鴨が一羽、利府町役場敷地内で子育てをしようとして一生懸命になっていたところを発見されました。世にいう(?)「子育て世代に優しい利府町にカモン!」事件です。数日後に10個ほどあった卵が行方不明になりました。合計特殊出生率が全国で2番目に低い宮城県にあって(1.15%)利府町は1.33%とまずまずの結果を残している事もあり、カルガモも利府町応援団として来てくれたのだらうと喜んでいて矢先に起こりましたので、職員一同悲しみに包まれたのは言うまでもありません。喜びも束の間、お叱りのご連絡や意見、ご提言やご定見もいただきました。泣きっ面

に蜂とはこのことです。

白い卵が蘆花に入っことを考えれば、自然界のみならず子どもを産み育てることの大変さが身に染みてきます。日本の人口減少は指摘されてから久しいのですが、決してのど元を過ぎた課題ではありません。相変わらず私たちは、近い将来、全国の1724の基礎自治体中896もの市町村が消滅する危機に立たされています。

京都では「戦後」とは応仁の乱以降の事を指すらしいのですが、その応仁の乱のきっかけともなった嘉吉の乱。その誘い文句が「鴨を見にカモン!」だったことを考えると感慨深く思います。我が町のカルガモが吉兆であるか否かは後の歴史の判断に委ねたいと思いますが、昨今の世界的な「乱」と人口減少社会はなかなか止まらない事は明らかです。クジ引きで決まる為政者よりも民主的な手続きによって決定されたリーダーの手で子宝に恵まれた社会になることを期待したいと思います。

ゆたか

利府町長 熊谷 大

第29回 利府町ふるさとスポーツ祭

ふるさとスポーツ祭 競技結果

種 目	優 勝	準優勝	第 3 位
ソフトボール	皆の丘	菅谷台ボンコース	
	菅谷台G	神谷沢	
ペタンク	神谷沢	館	大町
グラウンドゴルフ	青山A	森郷A	花園A
ゲートボール	野中二部	神谷沢	利府

6月26日(日)第29回利府町ふるさとスポーツ祭が、多目的運動場などを会場に開催されました。約500人が参加し、それぞれの会場で熱戦が繰り広げられました。

ソフトボール



ペタンク



グラウンドゴルフ



ゲートボール

